

ちょっと昔のおもしろ道具

「むかしの道具を見て聴いて触ってみよう」

「木都島田の仕事道具コレクション」

10/31
(土)



内 容 島田市の木材産業は、大井川の森林資源と水運を活かし、江戸時代から盛んになりました。島田は「木都」と称され、木材の販売、製材だけでなく、家具や下駄、おもちゃといった木製品製造業でも発展を遂げました。昔の生活道具である農具、樽、桶、箆、籠、そして薪や炭など全て木から生まれています。

戦後、チェーンソーが普及するまでは、木を伐ったり、木の枝を落としたり、短く切って丸太にしたりする作業はすべて斧や鋸を用いた手作業で行われていました。山での作業を安全、正確に進めるために楔、鳶口、曲尺、アイゼンなどの道具も駆使していました。これらの道具から始まった木都島田の歴史を伝える仕事道具コレクションの一部を紹介します。

日 時 令和8年10月31日（土）10:00～15:00

場 所 島田市博物館 分館

対 象 どなたでも参加大歓迎（参加者多数の場合は少し待っていただく場合があります）

参加料 観覧料のみ（中学生以下は観覧料無料）詳細はホームページをご覧ください。

〒427-0037 静岡県島田市河原2丁目16番5号 TEL・FAX (0547) 34-3216

島田市博物館分館